

- 持続可能な鉄道網の確立に向け、オール北海道により利用促進の取組を展開するとともに、維持困難線区においても、道と市町村が一体となった緊急的かつ臨時的な支援等を実施する。

オール北海道による利用促進

2018～

ソフト施策

道民の日常利用やインバウンドをはじめとする来道観光客の一層の利用拡大に向けた支援

【主 体】

北海道鉄道活性化協議会

【取組イメージ】 ※協議会で決定

- 道民の利用拡大
(普及啓発、ノーカーデーなど)
- 道外・海外観光客の利用拡大
(観光列車の実用化に向けた検討など)
- 国民的理解・応援機運の醸成
(首都圏でのプロモーション活動など)



みんなで築けば、
未来が変わる。
JR北海道、道庁、市町村、関係機関等

【うち維持困難線区】

地域独自の支援

2019,20

ハード整備

維持困難線区の定時性や利便性、快適性の向上など利用促進に資する緊急的かつ臨時的な支援

【主 体】

北海道・市町村 (調整中)

【支援内容】 ※調整中

- 定時性や利便性、快適性の向上など利用促進に資する設備投資等

事業計画に基づく取組

2019～

ソフト施策

監督命令に基づき J R 北海道が地域とともに作成する事業計画に基づく取組への支援

【主 体】

各沿線協議会

【取組イメージ】 ※各線区ごとに決定

- 利用促進
 - ▶生活利用(サービス向上、利用促進など)
 - ▶観光利用(誘客拡大、地域との連携など)
 - ▶広域利用 (出張での鉄道利用など)
- 経費節減
 - ▶設備見直しやスリム化への協力
 - ▶業務受託(乗車券販売、駅の維持管理など)
 - ▶コストダウンの取組への協力